

「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会 in 由布 開催概要

【開催日：令和5年6月29日（木）】

【学校訪問】 由布市立 谷小学校

【訪問者】 大分県教育委員会（林教育長職務代理、教育委員、教育次長 他）
由布市教育委員会（橋本教育長、教育委員、学校教育課長 他）

- ▶ 由布市立谷小学校では、「喜んで登校し、満足して下校する学校」をキーワードに、「友だちと共に学び合う学校」、「安全・安心で元気な学校」、「家庭や地域に信頼され開かれた学校」を目指しています。
- ▶ その中でも地域との連携は、学校運営協議会と谷むらづくり協議会を中核として、「地域人材バンク」の活用や保護者の参画など、様々な地域の方々と共に進めています。
- ▶ このことは、児童数減少のデメリット「多様な人と関わる経験の少なさ」や「思考の広がりや深まりの不十分さ」を補完するとともに、子どもたちの「由布学」での学びを、探究的な見方・考え方を働かせた横断的・総合的な学習として質的に高めている、等の説明がありました。



4年「白岳神社」の神主・佐藤さんへの取材活動

【意見交換会テーマ】「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上
～「地域とともにある学校づくり」を目指した学校運営協議会と
地域学校協働活動の一体的推進について～

【出席者】 学校訪問参加者及び地域学校協働活動推進員等

1 由布市と谷小の取組説明「地域とともにある学校づくり」

- ▶ 市の取組として、①由布市人材育成教育、②由布学・地域学校協働活動を中心とした取組、③児童生徒の学びの姿の発信動画（2次元コード活用）についての説明がありました。
- ▶ 谷小学校からは、児童たちが作成した「移住促進パンフレット」や「谷人ふれあいマップ」の経緯や成果物の説明がありました。



由布市・麻生課長



谷小・阿部校長と移住促進パンフ



2 意見交換(主な意見)

- ▶ 出席した地域学校協働活動推進員や学校運営協議会の委員のみなさん方からは、「学校に対して、かしまらずに本音で言い合える関係性が強みである。」「推進員の様々な外部とのつながりを、学校に紹介できている。」「都市部に出た若者が、今も由布市への関わりを続けてくれている。」「昔からまちづくりをしてきた方々と、新しくそれを受け継いできている方々にGT(ゲストティーチャー)をお願いする際は、子どもたちの様子を学校と共有している。」「小規模・人口減の状況を少しでも打開するために、『どうしたら子どもが増える？』『どうしたらこの地域に移住してくれる？』について、学校や学校運営協議会の方々と一緒に話し合っ取り組んでいる。」「別室登校の子どもに地域の私たちが何らかの力添えができないか、との話をしている。」「子どもを中心に、子どものために何ができるか、という議論をしている。」「もう少し、踏み込んだ関係性をつくっていきたい。』と、具体的に語ってくれました。
- ▶ 教育委員からは、「子どもたちが地域の仕事・産業構造などを全体的に捉える機会があることは、大切なことである。」「地域で学校を守らないと、学校の行事や地域の行事などもままならないと強く感じている。」「地域の方々の元気・活力で、学校も変わるし子どもたちも変わる。」「『移住』を子どもたちも巻き込みながら進めていることに、とても感動した。」「このような方々が『学校の応援団』として地域にいらっしやることは、校長先生にとっても、とてもありがたいことだと思う。』といった意見が出されました。



地域で子どもを育てたい
(由布市・橋本教育長)



学校現場の知恵や工夫、必要な支援があれば声を聞かせてほしい
(県教委・林教育長職務代理)